



公明党 **鈴木謙一郎**
健康に暮らせる環境整備を 6




問健康に関心の薄い層が健康に関心を持つためには、どのような取り組みが必要と考えているのか伺う。

答保健医療部長 職場の研修、PTAの家庭教育学級、地域のイベント等で健康講話や相談会を行うとともに、職場、保育園、学校からの配布物等に健康情報を取り入れるなど、既存の取り組みに健康づくりを組み込むことが有効である。また、参加しやすいプログラムの充実や受け手の関心を引く情報発信も必要である。さらに、地域の商店等と連携し、健康情報の提供に努めるとともに、生活の場で意識せずに健康情報を得やすい、自然に健康になれる環境づくりに努めていきたい。

【調】市民の健康づくり



公明党 **須藤直樹**
多様な学びの機会の充実を 7




問公民館講座について、多様な学びの機会の充実のために、オンライン手法を活用することも有効と考えるが、市として、今後、どのように取り組んでいくのか伺う。


答教育総務部長 公民館は地域の学びと居場所を担う重要な拠点であり、オンライン手法を活用することは参加者の時間や場所を選ばないことから、多くの市民が学びに参加できる有効な手法である。

今後は、ICT環境整備や人材育成を進めつつ、公民館事業のDX化を推進することで、多様な学びの機会の確保を目指す。

【調】士業等の専門家の活用



公明党 **嶋田弘二**
脱炭素化について 8




問ごみの減量化やリサイクルをさらに推進していくため、家庭から排出される廃食用油の回収事業に取り組むべきと考えるが、市の見解を伺う。


答環境部長 廃食用油の回収は、ごみの減量と資源の循環利用を促進し、持続可能な社会づくりの取り組み等に有効なものであると考えている。

廃食用油の回収事業については、回収方法や処理・利活用先に関する民間事業者との連携可能性、国の施策動向や既に導入している自治体の取り組み事例等を調査・研究していく。

【調】脱炭素化




川越志政会 **倉嶋真史**
レスパイトケア事業の今後 9




問18歳で支援が途切れるレスパイトケア事業を見直し、近隣他市の水準へ引き上げることについて、市長の考えを伺いたい。

答市長 レスパイトケア事業は、家族の精神的、身体的負担を軽減することに高い効果があるものと認識している。18歳以上を対象とすることは、施設への運営支援につながるとともに、市内の施設において本市在住の医療的ケアの必要な障害者の受け入れが促進されるため、本市の厳しい財政状況を考慮しつつ、今後、検討していきたいと考える。

【調】在宅重症心身障害者

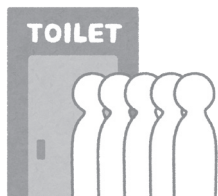


川越志政会 **桑真美子**
女性用トイレの行列解消を 10




問公共施設のトイレの割合は、男性1に対し女性は0.75と不足している。施設整備には男女の待ち時間の平準化に向けた視点を取り入れるべきだが、市の考えは。


答総合政策部長 現在、本市ではトイレの設置基数に関する基準等は設けていないが、女性をはじめ、誰もが外出先などで安心して快適にトイレが利用できるよう、国が作成するガイドラインや施設の利用見込みなどを十分考慮し、公共施設を整備する際の適切なトイレの設置や利用環境の向上に努めていきたい。



【調】女性用トイレの行列解消 【調】自治会加入率低下



川越志政会 **中野敏浩**
企業立地における波及効果 11



問令和6年度に企業立地推進室を設置し、ワンストップの相談体制を整えて企業立地を推進しているが、企業立地の経済波及効果をどのように認識しているか伺う。

答産業観光部長 企業立地の経済波及効果は、企業操業前の建設・設備投資、操業後の生産活動、それに伴う中間投入の増加により生じる生産活動、各生産活動により生じた雇用者所得が消費に回り誘発される新たな生産活動、これらが連鎖的に生み出され、地域全体へ広がっていく効果である。さらに新規雇用や法人・個人市民税増収の誘発、固定資産税収が見込まれ、本市の雇用促進や財政基盤強化に大きく寄与すると認識している。

【調】市の魅力と財政への影響